

任者(主催者).

- 4) 推薦者
本会・会長
- 5) 推薦可能件数
本会から1件
- 6) 推薦書用紙
財団のホームページ<https://www.naito-f.or.jp/>にて登録・作成してください。

(7) 第50回(2018年度)内藤記念海外学者招聘助成金(前期)候補推薦要項

- 1) 援助の趣旨
人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を、日本国内で開催される定例的な学術集会(年会や季会)に招聘する際の費用を補助するもの。
- 2) 対象期間、助成額、件数
招聘時期:2019年1月1日~2019年6月30日
エリア 助成額
中東・アフリカ 80万円
米国・カナダ(西海岸除く),ヨーロッパ,南米 60万円
米国・カナダ西海岸,オーストラリア,ニュージーランド 50万円
東南アジア,インド 30万円
中国,台湾,韓国 20万円
10件以内
- 3) 対象者の資格
当該学術集会の組織委員長
- 4) 推薦者
本会・会長
- 5) 推薦可能件数
本会から1件
- 6) 推薦書用紙
財団のホームページ<https://www.naito-f.or.jp/>にて登録・作成してください。

(8) 第45回(2017年度)内藤記念講演助成金(春季)候補者の追加募集

財団への申請は年4回の受付期間があり、本会からの年間推薦件数は1件であるが、冬季までの応募が無かったため春季のみ追加募集を行う。

- 1) 援助の趣旨
自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議(シンポジウム,講演会)の開催に対し、費用を補助するもの。国際会議とは、参加者総数が50名以上で、かつ参加国が日本を含む2カ国以上を占める会議をいう。ただし、国内で開催される学術集会の定例的な年会や季会は対象外。
- 2) 対象期間、援助額、件数
2018年4月~2018年6月に開催されるもの。上限は1件50万円。採択件数は、年間予算の範囲内。
- 3) 対象者の資格
大学,研究機関に所属する者で、当該国際会議の開催責任者(主催者)。
- 4) 推薦者
本会・会長

- 5) 推薦可能件数
本会から1件
- 6) 推薦書用紙
財団のホームページ<https://www.naito-f.or.jp/>にて登録・作成してください。

■第73回年次大会(2018年)宿泊について(ご注意)

標記年次大会は2018年3月22日~25日、東京理科大学野田キャンパスにて開催されますが、首都圏では近年、慢性的なホテルの客室不足が生じています。年次大会への参加をご予定の方は、早めに宿泊手配をされますことをお勧めします。

なお、年次大会の旅行者による宿泊等の案内は会誌12月号(次号)に掲載されるとともに、ホームページにも掲載されます。

また、年次大会に講演申込をされた方への講演番号のお知らせは、12月中旬頃講演申込時に登録されたメールアドレス宛へのご連絡を予定しています。

■第14回Jr.セッションの開催

2018年3月24日(土)に、第73回年次大会(2018年)東京理科大学野田キャンパス会場において、標記Jr.セッションを開催します。詳細は本会ホームページをご覧ください。

■第73回年次大会(2018年)会場における託児室の設置について

標記年次大会会場において託児室を設置します。詳細は本会ホームページをご覧ください。掲載は2018年2月初旬頃の予定です。

■一般非会員参加者の大会参加費値上げについて

第73回年次大会(2018年)(於東京理科大学野田キャンパス)より、非会員参加者(一般)の参加費を以下のとおりとさせていただきます。なお、学生の非会員参加者については変更ありません。

- ・期日後事前web登録 15,000円
- ・会期中現地登録(現金のみ) 17,000円

■第73回年次大会(2018年)の事前参加登録・事前講演概要集(Webアクセス権および記録保存用DVD版)の申込について

標記年次大会が2018年3月22日~25日、東京理科大学野田キャンパスで開催されます。参加者には必ず参加登録をしていただきます。また講演概要集(Webアクセス権,記録保存用DVD版)の頒布もいたします。なお、参加登録・講演概要集の申込方法は、登壇発表をされる方とそれ以外の方では異なりますので、それぞれ以下の方法でお申込ください。参加登録費,講演概要集(Webアクセス権,記録保存用DVD版)の頒価は以下一覧のとおりです。

《登壇発表をされる方》

講演申込と同時に事前参加登録をしていただきます。その際、希望者は併せて講演概要集(Webアクセス権,記録保存用DVD版)もお申込ください。なお、講演申込方法は本号会告掲載の“第73回年次大会(2018年)講演募集要項”をご覧ください。

《登壇発表者以外の方》

事前の参加登録と講演概要集(Webアクセス権,記録保存用DVD版)の申込方法は、次号(12月号)会告で案内しますので、そちらをご覧ください。

なお、参加登録費および講演概要集頒価は次のとおりです。

参加登録費および講演概要集頒価一覧

参加登録費	期日前事前登録 (1月24日まで)	期日後事前Web登録 (3月1日から会期最終日12時まで)	会期中現地登録 (現金払いのみ)
会員 一般	6,000円*	6,500円*	7,000円*
学生 [注1] および名誉・シニア会員	3,500円*	3,750円*	4,000円*
賛助会員	(本取扱いはありません)	6,500円*	7,000円*
非会員一般	(本取扱いはありません)	15,000円**	17,000円**
非会員学生 [注1]	(本取扱いはありません)	5,000円**	6,000円**

講演概要集 (全領域収録)	期日前事前登録 (1月24日まで) (送料・手数料込)	期日後事前Web登録 (3月1日から会期最終日12時まで) (送料・手数料込)	会期中現地登録 (現金払いのみ) (送料・手数料込)	会期終了後 (事務局に申込)
Webアクセス権のみ購入	1,000円	1,250円	1,500円	
Webアクセス権と記録保存用DVD版購入	1,500円	1,750円	2,000円	
記録保存用DVD版のみ購入	1,000円	1,250円	1,500円	1,500円 + 200円 (送料・手数料) [注2]

* 消費税の扱い

参加登録費：* 不課税 ** 消費税込

講演概要集：Webアクセス権・DVD版の頒価、および送料・手数料ともに消費税込。

[注1] 学生とは

学部学生、大学院生等もすべて学生の取り扱いとなります。本会の会員種別の学生会員のことではありません。

[注2] 送料・手数料は2部まで(ごと)を1単位として同一料金です。お支払い方法等は次のメールアドレスまでお問合せください。

お問合せ先 (E-mail): pubpub@jps.or.jp

[注3] 参加登録費には懇親会費(含む飲食費)等の費用は含まれていません。

第73回年次大会 (2018年) 講演募集要項

第73回年次大会 (2018年) を以下の通り開催します。講演ご希望の方は以下の諸注意をよくお読みの上、お申し込みください。会員の方は締切日より以前に余裕をもってご対応頂くなどのご協力をお願いいたします。また、決議3に関する講演申込の取り扱いについては、本年誌1月号61ページをご覧ください。

A. 開催地、期日、開催分野

東京理科大学 野田キャンパス (千葉県野田市山崎2641)

期日：2018年3月22日(木)～25日(日)

領域(分野)：素粒子論領域、素粒子実験領域、理論核物理領域、実験核物理領域、宇宙線・宇宙物理領域、ビーム物理領域、領域1(原子分子、量子エレクトロニクス、放射線)、領域2(プラズマ)、領域3(磁性)、領域4(半導体、メゾスコピック系、量子輸送)、領域5(光物性)、領域6(金属(液体金属、準結晶)・低温(超低温、超伝導、密度波))、領域7(分子性固体)、領域8(強相関電子系)、領域9(表面・界面、結晶成長)、領域10(構造物性(誘電体、格子欠陥、X線・粒子線、フォノン))、領域11(物性基礎論、統計力学、流体物理、応用数学、社会経済物理)、領域12(ソフトマター物理、化学物理、生物物理)、領域13(物

理教育、物理学史、環境物理)

B. 講演申込締切期日

登壇者は講演申込と参加登録を同時に行ってください。

(講演申込は登壇者本人が責任をもって行ってください。)

* Webページ

受付期間：2017年10月27日(金)～11月21日(火)14時

* 概要集原稿提出(Web) 締切：2018年1月22日(月)14時

※締切以後に到着したものは受理しません。

Webページ(講演申込および事前参加登録)：

<http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html>

問い合わせ先：

日本物理学会 受付センター

E-mail: jps_gakkai18@gakkai-web.net

日本物理学会大会係 電話：03-3816-6202(大会専用)

E-mail: meeting-info@jps.or.jp

C. 講演発表者(登壇者)の資格

講演発表者(登壇者)は本会会員に限ります。

1) 発表(登壇)希望者が非会員である場合は、講演申込日までに入会申込手続きを完了すること。入会希望者は、本会ホームページよりお手続きください。

2) 以下の項目に該当する講演希望者は、jps_gakkai18@gakkai-web.netに問い合わせをし、講演を申し込んでください。

(a) アメリカ物理学会(The American Physical Society)、オーストラリア物理学会(Australian Institute of Physics)、イギリス物理学会(The Institute of Physics)、韓国物理学会(Korean Physical Society)、中華民国物理学会(The Physical Society of Republic of China)、ドイツ物理学会(Deutsche Physikalische Gesellschaft)、香港物理学会(The Physical Society of Hong Kong)、ポーランド物理学会(The Polish Physical Society)、メキシコ物理学会(Mexican Physical Society)、ヨーロッパ物理学会(European Physical Society)、フランス物理学会(The French Physical Society)の会員は本会会員と同等に扱う。ただし、これは各協定国在住の研究者の便宜を図るためであり、継続的に日本国内に在住して研究活動を行うものは日本物理学会会員として登壇することが協定の趣旨上望ましい。

(b) 領域12(生物物理)及び領域13(物理教育)に関わる分野を共催する日本生物物理学会及び日本物理教育学会の会員も、当該領域への申込に限り、本会会員と同等に扱います。

(c) 領域11に限っては、以下の条件(i～iii)を全て満たせば非会員でも講演発表者(登壇者)となることができます。

(i) 「日本機械学会」或いは「日本気象学会」の会員であり、且つ、学生であること

(ii) 本会会員が共同講演者となっていること

(iii) 参加費(非会員学生現地料金)に加えて、登壇料(5,000円)を支払うこと

(d) 地球電磁気・地球惑星圏学会および日本天文学会の会員においては、領域2の「プラズマ宇宙物理」合同セッションへの申込に限り、本会会員と同等に扱う。

3) 発表者(登壇者)が会員である場合は、共同講演者の中に非会員の方が含まれていても差しつかえありません。

D. 講演発表の形式

口頭発表およびポスター発表とします。(詳しくは、「G. 各領域の開催方針」を参照。)